

令和5年4月19日

(仮称)日野市DX推進計画(案)に関するパブリックコメント結果報告書

「(仮称)日野市DX推進計画」の策定に向けて、パブリックコメントを実施いたしました。市民の皆様から貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。パブリックコメントの集計結果や市の考え方について、以下のとおり報告します。

1. パブリックコメント実施期間

令和5年2月21日(火曜日)から令和5年3月23日(木曜日)まで

2. 周知方法

広報ひの(3月号)、市ホームページ、市公式LINE(計3回配信)

3. 素案の閲覧場所

- ・企画部情報政策課(防災情報センター2階)
- ・市内各図書館
- ・市政図書室
- ・七生支所
- ・豊田駅連絡所

4. ご意見の提出方法

持参、郵送、ファクス、電子メール、申込フォーム

5. ご意見の件数

意見通数 14通

意見総数 23件

6. 所管部署

日野市企画部情報政策課

7. ご意見と市の考え方

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
1	-	地域の様々な課題に興味はあるが資料を開いた瞬間、読む気がなくなりました。仕事ならあれくらい作り込まれたものが必要ですが、あくまで市民の立場で考えるなら、情報量が多すぎます。せめて中高生が見てもパッと分かる内容じゃないと、相当意識が高い人以外は読まない気がします。	本計画は、今後、市で推進する DX の基礎となる部分を、抽象的な概念で留まることが無いように明文化しております。そのため、ご指摘いただいたとおり情報量が多くなっております。今後、周知・浸透にあたっては、概要版や要約版の作成を検討致します。	市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。
2	-	行政サービスのデジタル化を考える場合、最低限の条件に独自ネットワーク構築と専用ソフトを用意する必要性を感じます。LINE など、民間且つ国外資本のサービスに依存する発想は論外だと感じました。そもそも論としてリスクマネジメントがなっていない計画のように感じました。市は国との連携でセキュリティ確保を第一に考えて欲しいと思います。	ご指摘のとおり、個人情報に関わる行政サービスは、利用するサービスやネットワークにおいて特段の配慮が必要と認識しており、国や東京都と密に連携し、セキュリティ向上に努めてまいります。今後のアクションプラン（施策）策定時に参考にさせていただきます。	市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。
3	P.15	PDCA のサイクルが 1 年では遅すぎる。せめて 2 週間程度にすべき。現在の日野市の知見やノウハウを鑑みたとき、妥当な計画が立てられることの確からしさが非常に低い。計画そのものが妥当では無い、間違っている、その前提に立った進行管理が必要。1 年後に「計画が間違っていた」というような Check をされるのでは税金の無駄。	本計画は、全アクションプランの骨子となる基本理念や共通指針、体制、進行管理の方法を示すものであり、DX 推進の基礎となる部分で、頻繁に変更していくことは妥当ではないと考えております。一方で、ご指摘のとおり、具体的な事業を示すアクションプラン（施策）については、1 年サイクルでの見直しは適切ではないと認識しております。今後のアクションプラン（施策）策定時に参考にさせていただきます。	アクションプランの PDCA について追記しました。 <修正箇所> 第 5 章改革の推進方法 (3) 進行管理 (P.18)

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
4	-	<p>日野市の刊行物や市議会、教育委員会等各種議事録をデジタル化しインターネット上で公開出来ればと思います。</p> <p>理由：市役所や図書館に向く労力を省ける。また、インターネット上の検索サービスによって必要な情報を探し出す時間の短縮が見込まれる。</p>	<p>市議会や教育委員会などの議事録は、HP で公開していますが、より多くの情報提供できるよう今後のアクションプラン（施策）策定時に参考にさせていただきます。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

5	P.11、 P.13-14	<p>①【その他にも、高齢者でもデジタル化の恩恵を享受できるよう、高齢者向けスマホ講座の実施や、市民サービス向上の視点から各種オンラインサービスの導入・拡充を行ってきました。P.9)】この部分の高齢者くでも>、デジタル化の<恩恵を享受>できるよう、 などの部分に上から目線を感じます。</p> <p>また、ここでは障害のある人への配慮は見られません。またそれについての反省・評価（「そこまでできていない」「まだ不十分」）も述べられていません。</p> <p>②11 ページから 13, 14 ページにかけての最も基本的な、なぜデジタル改革なのか、の点が、はっきりわかりません。市民の生活をよくするために様々なシステムをデジタルに変えていくことが必要である、という文脈ではなく、国が、東京都が、他国に比較して、遅れているデジタル化を進めるようにしているの、日野市もそれに応じて、庁内のシステムをデジタル化することにした。ついては、そのことをきっかけにして、「なるべく」高齢者にも不利にならないように教えてあげるから、やっていますよ、という印象に見えます。</p> <p>デジタル化がうまくできると、少ない職員で今までの仕事をこなせるので、人件費を減らしたり、余った時間を市民のサービスに使えたりすると思うので、いいことがありますよ。と書いてありますが、余った時間をどんなところに使うつもりかがはっきりしません。もともと、何のためのデジタル化か、という点での目的が必要に迫られて、ということに尽きているようです。つまり目的をあいまいにしたままに進むようですので、時流に送れないためにと、正直にどこかに書いてしまってもよいのかもしれませんが。</p>	<p>①について、ご指摘の通り障害のある方への配慮が欠けている部分がありました。高齢者に限らず、デジタルデバインド対策を検討してまいります。</p> <p>②について、DX 推進の目的は「第 1 章 計画策定について」に記載の通り、市民の皆様の利便性向上と将来にわたる安定的な市政運営の実現になります。</p> <p>各施策の目的や目標についてはアクションプランで明確化する予定です。</p> <p>背景として、国や東京都の政策や課題があります。補助金等の財源確保の観点からも国や東京都の方針を参考にアクションプランを検討してまいります。</p> <p>障害者への生涯学習支援の観点についても今後のアクションプラン（施策）策定時に検討させていただきます。</p>	<p>文中の表現を見直しました。</p> <p><修正箇所> 第 2 章デジタル化社会の現状 (3) 日野市のデジタル化 ①近年の日野市の取り組み (P.10)</p>
---	------------------	---	---	--

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
		<p>高齢者をひとつのデジタルデバイドの代表として記述しておられますが、 아이폰を買えない貧困世帯、障害のある人たちへの対策について、ほとんど記述がありません。</p> <p>デジタルの最大の利点は身体不自由での移動の困難な人にも情報が届く、アクセスできる点ですね。また、GIGA 構想でこどもたちの教育にはタブレットなどが一人一台の時代になっています。しかし、障害を持っていて、これからも学習を続けたいと願う障害者の人への対策は示されていません。全国的にも珍しい自治体の応援している日野市の障害者生涯学習支援活動ですが、42 年目になりました。委託先の「日野市障害者問題を考える会」では現在も訪問学級を実施中です。その中で、訪問学級生（18 歳—43 歳）にもデジタル機器を利用した学習を進めていますが、教具の不足を感じています。ですので、日野市障害者訪問学級の学級生（現在 19 名）にも一人一台のタブレットの支給を年度に 4 名ずつくらいでも（4 名×5 年間）、実施していただきたいと願っています。</p>		
6	P.14-15	<p>特に行政サービス DX に関してですが、デジタル改革推進検討会を中心としたアクションプラン策定に市民の要望・意見を取り入れ、アイデア集の作成、施策の優先順の決定ができるようにしてほしい。また、</p> <p>（3）進行管理に関してもその進捗を市民が確認・意見し、アクションプランを見直しできるようにしてほしい。全体的に市民のための DX でもあるのに市民不在で行政のための DX になってしまっている印象を受けます。</p>	<p>市民意識調査の中でデジタル化についてのご意見を伺いましたが、アクションプランの策定及び見直しに対し、どのように市民の皆様の声を反映させていくかは、継続して検討してまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
7	-	<p>2016年3月に日野市地域協働課の職員の方に依頼されて日野市のDX計画をとのこを概要設計を行いコメントを書き込んでいます。</p> <p>地域懇談会の時に、地域協働課の職員の方が日野市民会館で開催された時に、まとめを紹介されたかと思います。（市長も聞かれています）</p> <p>今回の計画に一部の参考になればと思い添付します。</p> <p>お忙しいなか、拝読よろしくお願いします。</p>	<p>今後のアクションプラン（施策）策定時に参考にさせていただきます。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>
8	-	<p>案の中に既に組み込まれているのならよいのですが、自治会活動でもICTを活用出来る仕組みを整えて欲しい。</p> <p>自治会アンケートで負担とされていると事の一つに回覧板があります。これは比較的ICT活用し易く思うので、</p> <p>何らかの電子回覧板の仕組みを考えて、市から自治体へ活用するよう働きかけて欲しい。</p> <p>https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/shiminkatsudo/jichikai/1022515.html</p>	<p>今後のアクションプラン（施策）策定時に参考にさせていただきます。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
9	-	<p>DX 推進において、マイナンバーに保険証や身分証の機能を統合させる動きがあるようですが、懸念点もありますので併せてご確認いただき、慎重な運用をお願いいたします。</p> <p>例えば以下の情報につきましてはご存知、または調査済みかもしれませんが、その場合も広く職員の皆さまにて、再度ご確認いただければと存じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険すぎる「マイナ保険証」…！なぜ義務化？ (https://www.zenshoren.or.jp/mynumber_qa) ・「マイナカード+公務員身分証」やめて！ 身内の省庁が自ら「直訴」していた (https://www.tokyo-np.co.jp/article/214575) <p>また、情報処理および情報管理の委託はしないでほしいです。 委託先と契約締結するから問題ないというレベルのものではありません。 漏洩してからでは遅いです。 重要な情報を取り扱う責任の重さを自覚していただき、市役所の正職員が担当できるような体制を整えていただきたいです。 それが難しいようであれば、重要な情報を取り扱う資格はありませんので、日本政府に同調せず、適切な判断力をもって日野市民を守ってください。 よろしくをお願いいたします。</p>	<p>毎年実施している全職員への情報セキュリティ研修等について、マイナンバー制度に関しても取り上げています。今後も国の方針等の情報取扱いに努め、引き続き取り組んでまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
10	-	<p>将来ビジョン（全体）はおおむね良いが、スケジュールは27年までのやるべきことを示しておき、25年に進捗確認とその後の見直しをすればよい。</p> <p>日野市はビジョンや中長期を作るが数年経つと遅れたり実行されないことも多いのでしっかり実行してほしい。</p>	<p>やるべきことはアクションプラン（施策）として具体化し、進捗管理等もアクションプラン単位に実行してまいります。</p> <p>アクションプランの進捗や実績・成果について、市民の皆様にはフィードバックできるような仕組みも合わせて検討してまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>
11		<p>第2章（3）の現状分析には実現してきたことだけを挙げるのではなく、他自治体との比較で日野市が遅れている点や遅れている理由を明確に列挙すべき。</p> <p>まずこれがきちんとできないと、今後もPDCAのCが機能しないかもしれません。</p>	<p>DXには正解がなく、他自治体と比較しても、勝る／劣るの判断が難しい現状もございます。地方自治体が抱える課題は、人口規模や人口構成比率、地域特性などにより多種多様となっております。難しい場合もありますが、アクションプラン策定時には他自治体の事例も参考にしております。</p> <p>PDCAにおけるCheck機能は、市職員だけでなく、第三者や市民の皆様で構成できるような仕組みを検討してまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>
12		<p>第3章（2）では「内部事務のDX」の背景や目的（市民への還元）が明確に記載されていてよいが、「行政サービスのDX」「地域全体のDX」は漠としているので、内部事務と同様の書きぶりとしてはどうかと思う。</p> <p>目的が「来庁の手間を省く」「活用できる状態を目指す」だけだと市民や市職員、議会（予算確保）を巻き込むことは難しい。</p>	<p>アクションプランでは「行政サービスのDX」、「地域全体のDX」においても施策ごとに目的や目標を明確にして検討してまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
13		<p>第4章（2）では3つの取り組みを並行して進めるようだが、まず市役所内で実現可能で効果の出やすい「内部事務のDX」を優先して進めるべきと考える。また「DX」と大きく振りかぶるのではなく、「ペーパーレス」「データの電子保存＝共有化」「庁舎間のWEB会議の活用」など具体例を挙げてコツコツ実行し効果を発現させ、その先でAIやRPAの導入を図るべきと思う。それを具体的にガントチャートに記載してはどうか。</p> <p>職員の業務分析をしっかりを行い、IT化が可能なものはトップを動かして即実行させることがポイント。組織のトップがその気になり、情報システム部門がツールやサーバー環境を整備すれば実施可能。まずは庁内から小さな成功体験を積み上げさせてほしいので。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきます。</p> <p>できる小さな成功事例を可視化することは、大切だと考えています。</p> <p>また、市長を始め理事者の理解やリーダーシップも大切であり、具体的取組の方向性について、確認して組織的に進めてまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
14		<p>第 5 章 推進体制は議論のための時間を短縮するために階層を深くしてはいけない。「アイデア集」を作成するデジタル改革推進検討会を構成する委員が誰なのか明記がないが、デジタル推進担当職員により具体的施策や優先順位を答申させる会議を設け、CIT に答申させ、CIT の承認の後に即実行とすべき。</p> <p>上から降りてきた具体的施策を「若手の」デジタル推進担当に実行させるだけではなく、施策決定のプロセスに関与させることが重要。何十年も現在の仕事のやり方に馴染んだベテランや部課長から良いアイデアは出てこない。「若手」をキーパーソンとすることで即効性や実効性のある施策が導入されるだろう。情報システム部門は情報セキュリティを確保したインフラ整備と、推進事務局業務に特化してはどうか。要は、一般職員に「情シスの指示でやらされている」「情シスがダメどいうからできない」という言い訳をさせない体制でないと、IT の活用は進まない。</p>	<p>デジタル改革推進検討会は、市職員（若手、ベテラン、管理職問わず）で構成されます。DX への熱意や知識がある職員が立候補する形で募集を行います。</p> <p>推進スピードについては、行政の課題と認識しております。実現性を高める意味でもスピード感のある組織体制を検討してまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>
15		<p>議会事務局と調整して市議会への導入にも触れてはどうか。開かれた議会とし、議論を活性化するためには思い切った IT 化が必要。</p> <p>議員の意識を変えさせる意味もある。議会に率先垂範させてほしい。</p>	<p>今後のアクションプラン（施策）策定時に参考にさせていただきます。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
16		<p>近年、市のサービスが LINE で受けとれることには便利を感じる。しかし一方で一私企業のサービスにべったり依存していることに不安も感じる。（同様にたびたび繰り返された PayPay キャンペーンには眉をひそめている）</p> <p>資料に API の語がある。LINE 上に構築したサービスを API レベルで分解して公開されることもよいとおもうか。市民の有志が別のインフラに同様の、あるいはもっとよいサービスを構築することも可能になるだろう。</p> <p>できるところをできる限りオープンにし、公平な競争のもと健全な市のサービスが構築されることを切に望む。</p>	<p>今後のアクションプラン（施策）策定時に参考にさせていただきます。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>
17		<p>デジタルファーストは便利と感じられるし個人的には好ましい。しかしネット接続インフラが整わない市民、アクセス手段が限定されている方、デジタルによる入出力に不慣れで学習・習得に困難を覚える方もいるだろう。第三章1にあるとおり、デジタルデバイドの解消、取り残されない社会に真摯に向き合い取り組んでほしい。</p>	<p>今後のアクションプラン（施策）策定時に参考にさせていただきます。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
18	P.11	<p>市民目線でこの DX でどのような嬉しさが得られるかの記述が薄い気がしました。内部工数の効率化がメインのような感じを受けています。誰もが便利で豊かな状態ってどういう形になりそうか？例えばデジタルデバイス対策って何をするのか？</p> <p>検討した結果、違った状態になるのは良くあることなので問題ないですが、最初にイメージを絵でも動画でもこんな暮らしに変わるんだよ！って訴えかけると、より市民が興味を持つ活動になると思います。さらに意見が市民から活発に出てくると思いました。もっとこうしたい、これに困っている そういった意見を具現化できると良いと思います。</p>	<p>今回実施した市民意識調査の中でDXに関する回答結果について追記しました。</p> <p>具体的にいつ、どのように豊かで便利になるのかについては、アクションプラン（施策）ごとに描いていく必要がある認識です。</p>	<p>修正しました。</p> <p><追記箇所></p> <p>②市民ニーズ調査結果（P.11～12）</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
19		<p>全くの私見で恐縮ですが市民にとって最も大切なのは、ここに掲げられている①誰もが取り残さない社会②利用者が使いやすいことだと考えます。</p> <p>そして、高齢市民が進んで取り組むことが成功のカギと思います。</p> <p>しかし、高齢者自身でその解決に向かって取り組む市民は少なく、これから DX を推進するうえで障害になると考えます。是非、高齢者にとってとつきやすい DX 施策にしていきたいということと、高齢者でも取り組みやすいインターフェースにしてくださいをお願いいたします。私の経験では難しいのではなく、取り組む意欲が乏しいだけで、先に一歩も進まないというのが高齢者の現状です。</p> <p>因みに私は 79.5 歳で、ICT のまともな教育は受けていませんが、独学で何とかやってきました。デジタル推進員、東京都スマサポに登録。Grafsec 会員（情報セキュリティサポーター、マイスター）、シニア情報生活アドバイザーです。推進のために無償でお手伝いさせていただきます。</p>	<p>お手伝いの申し出、ありがとうございます。</p> <p>既に中央公民館や高齢福祉課でデジタルデバインド対策を実施し、マイスター養成講座で講師を養成後、高齢者のふれあいサロン等で講習会を行っています。是非、ご協力頂けると助かります。</p> <p>今後、より一層のデジタルデバインド対策は、必要と考えています。アクションプラン策定では、多くの市民の皆様同士で学び合い、教え合える環境構築を検討してまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
20	P.10	<p>日野市のデジタル化について記載があるが、「デジタル田園都市構想」においてはソフトウェア面だけではなくハードウェア面についても記載があります。Society5.0を目指す社会としては地域公共ネットワークの充実も重要であるとする。インフラ整備について、どのように考えているか記載していただきたい。特に市の施設である地区センターなどネットワークがない場所も多いかと思われる。こういったハードウェア面での計画もこのページに追加していただきたい。</p>	<p>ご指摘の通り、インフラ整備は各アクションプランの前提となるもので、優先して取り組むべき事項と認識しております。</p> <p>日野市の目指すデジタル化においても必要になる認識ですので、計画書に付け加えさせていただきます。</p> <p>しかしながら、インフラ整備は目的ではなく手段となるため、アクションプラン策定時には「あるべき姿」を明確にし、それを実現するために必要なインフラな整備を検討してまいります。</p>	<p>本文および図を追記・修正しました。</p> <p><修正箇所></p> <p>第2章デジタル化社会の現状</p> <p>(3)日野市のデジタル化</p> <p>③日野市の目指すデジタル化</p> <p>(P.13)</p>
21	P.13	<p>GISとはPLATEAUのようなものを想定しているのか？それともLGWA-ASPでの自治体GISを想定しているのか</p>	<p>GISの利活用においては、令和4年度から検討を進めておりますが、現時点で公表できる構想はございません。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>
22	P.4	<p>現状としてはガバメントクラウドとして挙げられているのはAWS、GCP、Azure、「OracleCloudInfrastructure」を利用することになるかと思うが、いずれも米国のベンダーである。運用保守を含めた費用は昨今の円安ドル高状態だと、ドル建てで費用負担が掛かってくる。運用についての計画もアクションプランに明確に入れていただきたい。</p> <p>また、SLAについてもアクションプランの中でしっかり決めていただきたい。</p>	<p>アクションプランは、運用やライフサイクルについても含めるように検討してまいります。</p> <p>SLAについては、アクションプラン（施策）の特性を踏まえ、必要に応じて作成します。</p> <p>ガバメントクラウドの運用については、今後、国からの情報提供を踏まえ検討してまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>

項番	素案該当頁	ご意見（原文）	市の考え方	計画への反映方法
23	P.14	<p>体制であるが、副市長の略歴を見させていただいたが CIO として適任かどうかは決めかねる。できれば CIO については公募してみたらどうか？</p> <p>特に、日野市の場合は、近年、不祥事が起こりやすい体質であるから、CIO については第三者でチェックするような体制にしていきたい。第1層の各部長では第三者にならず、第2層のデジタル改革推進委員がチェックするなどの体制を取っていただきたい。</p>	<p>外部人材の活用は、必要であると考えています。</p> <p>CIO 又は CIO 補佐官などどのような位置づけで何を求め、どのような人材が良いのかを検討してまいります。</p>	<p>市の考えは左記のとおりですので、素案の変更は行いません。</p>